

## 北九州リスクリングキャンパス運営事業 仕様書

### 1 業務名

北九州リスクリングキャンパス運営事業

### 2 実施期間

契約締結日～令和9年3月31日

### 3 事業目的

急速な技術革新や産業構造の変化に対応するため、市内企業の社内人材のスキルアップを図り、企業の競争力強化と地域経済の活性化を推進し、企業価値向上、企業間イノベーションの創出、そして市民のウェルビーイング及び所得の向上を図ることを目的とする。

### 4 事業の達成目標

(1)参加社数:50社

(2)参加人数 250名(うちリスクリングプログラムの参加人数 60名程度)

※リスクリングプログラムだけでなく、本事業内のセミナー参加者等も含む。

### 5 事業の実施

(1)事業は、本仕様書に基づいて実施すること。

(2)受託者は、事業の実施にあたり、事業の目的等を十分に理解したうえで、適切な人員配置のもと実施すること。

(3)事業の実施により生じた苦情、トラブル等については責任をもって対応し、速やかに市へ報告すること。

### 6 事業(仕様書 P4:8 業務内容で挙げているア～ウのプログラム)への参加対象

(1)参加企業について

ア 参加対象となる企業は以下のとおり。いずれも北九州市に事業所を有するまたは北九州市都市圏域構成市町、下関市に事業所を有し、北九州市内で雇用を行っている、または、北九州市内で雇用を予定している企業であることを条件とする。

(i) 自社従業員に対するリスクリング実施に意欲のある企業

(ii) リスクリングを活用し、事業成長につなげる意欲がある企業

(iii) 事業の参加にあたり、事業の趣旨を十分に理解し、他の参加企業と足並みを揃えること、企業負担金の支払い、コンプライアンスの遵守について書面で誓約すること。

## (2)参加者について

ア 参加対象者は以下のとおり。

(1)に該当する企業に就業する経営層若しくは従業員

イ 参加者の募集受付・選考

・アの参加者要件に該当する参加者を募集すること。参加企業の集客については、積極的に実施すること。

**※企業訪問や経済団体との連携以外の新たな集客手段を提案すること。**

・募集にあたり、北九州雇用対策協会の協力を得ること。

・電子申請フォーム等を用いて、申込者の人数管理等を行うこと。申込者数が多数の場合は、事業の目的に適う適正な基準を用いて、審査を実施し、参加者を選考すること。

・なお、審査手段については別途相談すること。

## 7 事務局の設置

(1)8 業務内容で挙げている(1)ア～ウのプログラムの実施にあたり、以下の項目について留意し、また、事業を円滑に運営するための事務局を設置すること。

ア 参加者と参加企業への連絡・調整等を適宜行い、責任を持って、事業全体を統括すること。具体的な運営体制、連絡網を事前に市へ提示すること。

また、統括責任者を配置し、運営において問題等が生じた場合は、事務局側で内部協議を経た上で、統括責任者が市へ報告、相談等を行うこと。

併せて、事務局に専任責任者1名を配置するほか、業務遂行上必要な業務従事者を配置すること。なお、専任責任者は市、受講者(参加企業)及び関係機関との連絡調整の他、事務局の円滑な運営を実施すること。

イ 参加者及び参加企業が事業内容を十分に理解したうえで、事業に参加できるよう、各プログラム実施前に事業の趣旨、サービス内容、参加するメリット等を説明すること。

ウ 各プログラムの要領やカリキュラム等を作成し、適切に実施すること。

エ 参加者及び参加企業へのフォローアップを適宜実施すること。

オ 参加者及び参加企業からの問い合わせに対して、適切に対応すること。

カ 事業を効果的に周知し、広く参加者を確保するため、当事業のランディングページを作成し、以下の情報を掲載することにより、参加希望者、参加企業等を広く

募集すること。また、当事者に参加を希望する人や企業が随時参加申し込みできる仕組みを設けること。

(掲載事例)

トップビジュアル・メッセージ	メニュー
事業の概要説明	事業の研修内容
事業の募集要項	事業の申込フォーム等
セミナー・イベント・国の補助金等情報	問い合わせ先・問い合わせフォーム

また、申し込み方法等については、Web等を活用した申込フォームで行うこと。なお、ランディングページは翌年度以降も引き続き維持・更新していくことを想定しているため、委託契約終了後もデザインやコンテンツ等を引き継ぎ可能にすること。ページデザイン等については市と協議の上で決定すること。

キ 事業の目標達成にむけて、企画提案者のオウンドメディアやプラットフォームなどを積極的に活用することとし、活用方法を提案すること。

ク そのほか、紙及び電子公告の作成、SNS 広告を活用した広報、民間の無料広報プラットフォームなど、その他活用可能な方法を駆使し、広報を行うこととし、効果的な広報方法を提案すること。

※チラシの部数、広報物のデザインなどについては、市と協議のうえで決定すること。  
なお、成果品に係る一切の権利は、市に帰属するもの。

ケ 企業への参加者募集案内にあたっては、金融機関及び経済団体、その他各産業を支援する機関、組合、団体との連携を図ること。

コ 本事業の周知・広報用のリーフレットを制作し、市と連携し、配架、配布等を行うこと。  
チラシの部数、広報物のデザインなどについては、市と協議のうえで決定すること。

サ 相談者等に適切に対応できるよう、専用の連絡先を設定すること。

シ 本事業への参加書類・募集要項等の作成を行い、参加申込受付や情報管理を行うこと。

## 8 業務内容

(1)以下の内容について業務を実施する。

- ア 参加希望者・経営層向けセミナー及び企業間交流会の企画・開催
- イ リスキリングプログラムの企画・開催
- ウ その他プログラムの企画・開催

(2)スケジュール

以下のスケジュール案を参考に、事業の達成目標を最も効果的に達成可能と考えられるスケジュールを提案すること。

時期	実施内容
5月下旬～7月上旬	プログラム案検討・リーフレット作成 ランディングページ更新
7月上旬～9月	参加企業の集客(企業訪問等)
7月上旬～9月	参加希望者・経営層向けセミナー及び企業間交流会の企画・開催(自由提案)
8月～(随時)	受講前・受講中の参加者サポート
9月	開講式
9月～(随時)	活用可能なリソースを活用した人材育成プログラム(自由提案)
10月～12月	リスキリングプログラム実施(対面・オンライン)・交流会
2月	閉講式(成果発表会)
3月	業務完了報告書作成、アンケート結果集計等

## 9 業務詳細

(1)各プログラム実施における共通留意事項

ア 参加者及び参加企業が参加するうえで、支障のないように、各コンテンツの時期・回数等を考慮し、企画提案すること。

イ リスキリングによる社内人材の成長機会の提供及び企業価値の向上を目指すうえで、満足度の高いプログラムとすること。

ウ 事業実施にあたり会場を選定する場合は、利便性が高く適切な広さの会場、円滑に実施可能な環境、必要な機材等を準備すること。

エ 事業実施に係る会場の確保、使用料及びオンラインに係る機材等、一切の経費負担については受注者負担とすること。

オ 事業の目標達成にむけて、参加者及び参加企業への伴走支援を実施すること。

カ 実施方法については、オフライン、オンライン、ハイブリッド形式など、実施にあたり最も効果的な方法を提案すること。オンラインで実施する場合は、チャット等コミュニケーションツールを導入し、関係者が連絡を取りやすい環境を整備すること。

### **(1)参加希望者・経営層向けセミナー及び企業間交流会の企画・開催(自由提案)**

主体的に人材育成に取り組む意思のある企業等に対して、以下の条件を踏まえた上で提案すること。なお、研修の開催方法については、オンライン開催も含めた最も効果的な方法にて実施すること。

リスキリング経験者による成功事例等を共有するプログラムや経営課題の抽出、リスキリングが組織にもたらす効果(企業の生産性向上や持続的な成長、エンゲージメントの向上等への寄与)をテーマとしたセミナー・ワークショップ等を市内企業やリスキリング経験者等の交流会も組み込んだ上で2回以上実施すること。

本セミナーは、北九州リスキリングキャンパスの説明会を兼ねたものとし、本キャンパスの参加に繋がるものとする。

### **(2)リスキリングプログラムの企画・開催**

市内企業の人材育成に資するようリスキリングプログラムを企画・開催すること。

コースについては、以下テーマを扱い、市と協議して3つ以上設置するものとする。参加者は各コース20名程度とし、オンラインでの開催も可とする。

なお、プログラム構築にあたっては、別紙アンケート(P9～)を参考とすること。

#### **①DX 推進コース**

既存の業務プロセスを見直し、業務効率化のためのDX 戦略立案やデジタルツールの活用スキルを取得することで、生産性向上に直結する成果を生み出せるDX推進人材を育成する。

#### **②AI 活用コース**

AI を経営課題解決や新規事業提案等に活かすとともに、自社ビジネスへのAI 導入・活用を推進できるよう、実践的な知識やスキルを取得する。

#### **③コミュニケーション術×ロジカルシンキングコース**

状況に応じたコミュニケーション術と、データに基づいた客観的かつ論理的な思考で本質的な問題を見抜き、効果的な解決案を立案する力を強化する。質の高いコミュニケーションと説得力のあるプレゼンテーションが行えるスキルを取得することで、組織を動かすリーダーシップを発揮できる人材を育成する。

#### **④活用可能なリソースを駆使した人材育成プログラム(自由提案)**

企画提案者側で活用可能なリソースを駆使し、(2)参加者を対象とした、①～③のプログラムとは別の追加コンテンツを企画し、より参加者のスキル向上に寄与するよう、魅力的かつ

効果的な提案を1つ以上行うこと。

参加者自身が自律的に学習し、学び続けられる姿勢を身につけられる実効性のある学習コンテンツ・サポート体制を企画・実施すること。

なお、①～③については、参加者の既存スキルのレンジに対応するため、各コースに対し、必要に応じて初級・中級・上級といったレベル別対応もしくは若手社員・事業責任者・管理職等の職位別レベル別対応も含めて提案すること。

ア 座学研修の企画・開催(オンライン可)

各テーマに沿った4回程度の座学研修をコース毎に企画・実施すること。

イ 実践の場の企画・開催(オンライン不可)

実践体験(ワークショップや課題解決型プログラム等)や、コミュニティ形成(参加企業同士の交流等)等、①～③でインプットしたスキルを活かし実践する場を対面で企画し、コース毎に2回以上実施すること。実践研修の後、コース毎に参加者の交流会を実施すること。

ウ 参加者への学習サポートメニュー(自由提案)

知識の取得だけでなく自社での実践に結びつける、かつ参加者の学習意欲を持続させるため、運営スタッフ等による受講者のフォローアップを定期的実施すること。

(3)その他プログラムの企画・運営

ア 開講式や交流会の企画・開催

全参加者に向けて、リスキリングプログラム実施前に機運を醸成、参加者・市内企業等が交流できる開講式を対面開催で企画・実施すること。

イ 閉講式(成果発表会)の企画・開催

本キャンパスを経て、参加者が自社にて取り組んだ内容を発表する成果発表会を対面開催で企画・実施すること。併せて参加者・市内企業等が交流できる機会を設けること。

ウ 参加者、講師及び事務局の情報共有ツールの提供

ビジネス用のコミュニケーションアプリ等で参加者、講師及び事務局が情報共有できるツールを利用すること。

エ リスキリングキャンパス及び各コースの効果検証

各回受講後及び全回受講終了後に、参加者にアンケートを実施し、効果検証を行い、プログラムの満足度向上に努めること。全回終了後は、参加企業向けにもアンケートを実施すること。

#### オ 事例の収集

各コース終了後、コースごとに1名以上の参加者にインタビューを行い、記事にしてランディングページに掲載すること。

#### カ 市内企業を対象としたリスキリングに関するアンケート実施

リスキリングへの関心や実施状況、ニーズを把握するため、市内企業を対象としたアンケートを企画・実施すること。

### 10 留意事項

(1)年度当初に、年間予定計画書を市へ提出すること。

(2)事業の参加者の個人情報、事業の実施・運営上必要な範囲で使用することとし、他の目的に決して用いないこと。また、個人情報は厳重に管理し、万一、外部に流出する等の事故が発生したとき、又は流出する恐れのある場合は、受託者の責任において対処することとし、速やかに市に報告すること。

(3)業務上作成する名簿、記録等の書式については、事前に市と協議することとし、事業終了後は全て市に提出すること。

(4)この仕様書に定めのない事項や疑義が生じた場合は、市と受託者の双方協議のうえで、決定すること。

(5)本企画提案及び業務履行に必要な経費はすべて、受注者の負担とすること。

(6)受託者は、市により業務の履行をすべて完了したことの確認を受けた後に、市の指定する方法により、市に委託料を請求すること。

### 11 定例協議の実施

(1)事業の進捗管理、課題共有、実施内容の報告等を図る目的で、事務局は週1回・1時間程度を目安に協議の場(オンラインも可)を設け、事業の進捗状況の報告や課題の共有、意見交換等を行いながら、齟齬のないよう事業を進めること。

(2)協議に合わせて、市が全般の事業の進捗状況を把握できるよう、細かな進捗(課題等も含む)が分かる資料データを作成・更新し、随時報告すること。

### 12 報告書の提出

#### (1)月次報告書

参加者数、支援企業数、支援状況等の実施状況に係る報告書を毎月月初に市へ提出すること。

#### (2)業務完了報告書

年度末には年間の成果物として、業務完了報告書を市へ提出し、検収を受けること。なお、報告項目、様式等については、市と協議すること。

(3)各イベントにおける参加者及び参加企業からのアンケート結果及び各イベント資料電子データ(エクセルファイル等)で提出すること。アンケート内容については事前に市と協議すること。

### 13 成果の帰属

事業で得られた成果品に係る一切の権利は、市に帰属するもの。

(1)成果品に係る著作権ほか一切の権利は市が保有することとし、該当データの加工・二次利用を行うことについて了承する。

(2)チラシ等印刷物の成果品については、加工・二次利用ができる電子データや当該業務を実施する上で作成するマニュアル、通知文等の一切の書類データをすべて納品すること。

### 14 秘密保持等

(1)市は、企画提案者から提出された提案書等は、事業における契約予定者の選定以外の目的で使用しない。

(2)企画提案者は、事業の実施上知り得た秘密を他に漏らしてはならない。

(3)企画提案者は事業に関し、市から受領または閲覧した資料等を、市の了解なく公表または使用してはならない。

(4)受託者は、事業の実施状況を公表しようとするときは、事前に市の承認を受けなければならない。

# 令和7年度リスキリングキャンパスに関するアンケート

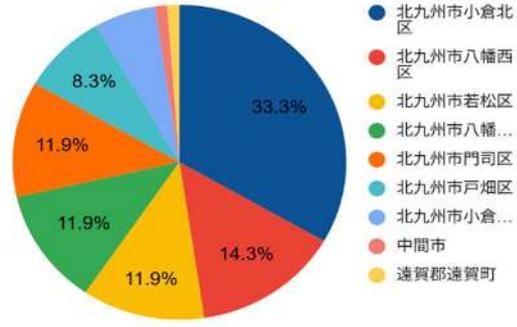
- ・アンケート回収方法:市内企業に向けて回答フォーム(URL)をメールで送付。
- ・実施期間:令和7年12月22日～令和8年2月13日
- ・回答数 84社 (配布数 約2500社)

## ●回答者基本情報

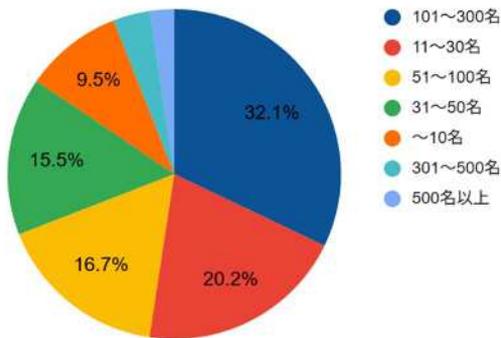
業種 (単位: %) n=84



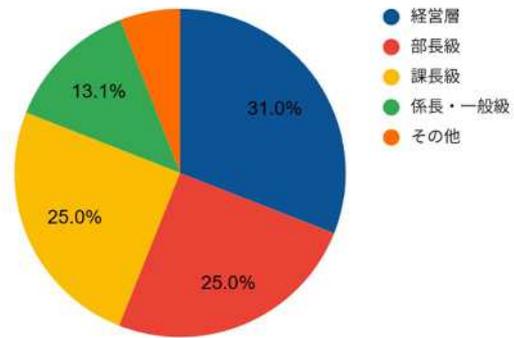
所在地 (単位: %) n=84



従業員数 (単位: %) n=84

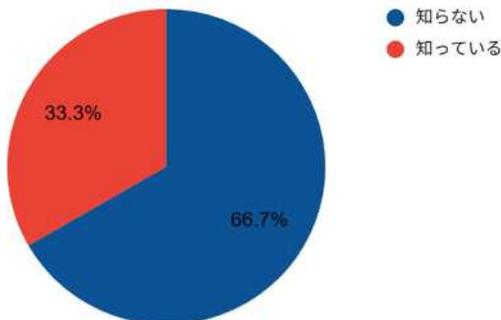


御担当者 (役職) (単位: %) n=84

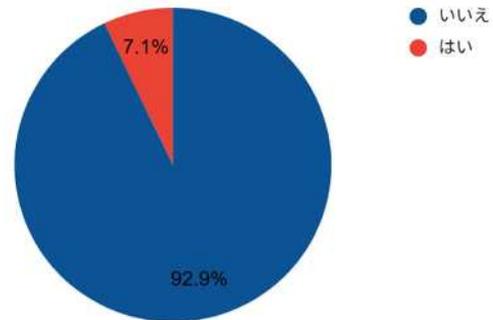


## ●北九州リスキリングキャンパスについて

リスキリングキャンパスの認知  
はいいいえ (単位: %) n=84



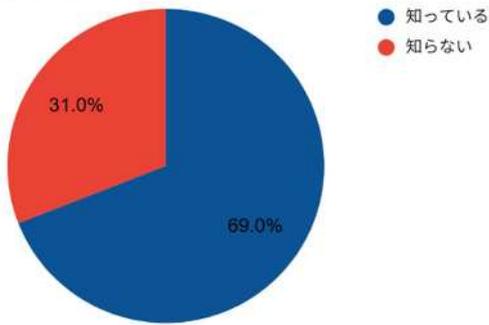
今年度参加の有無 はいいいえ  
(単位: %) n=84



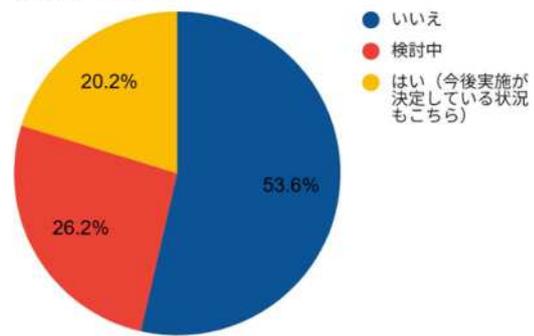
※上記で「はい」と回答した参加企業の数 は 84 社中 6 社。

## ●リスクリングに関する調査

Q1 リスクリングについて知っている/知らない  
(単位：%) n=84



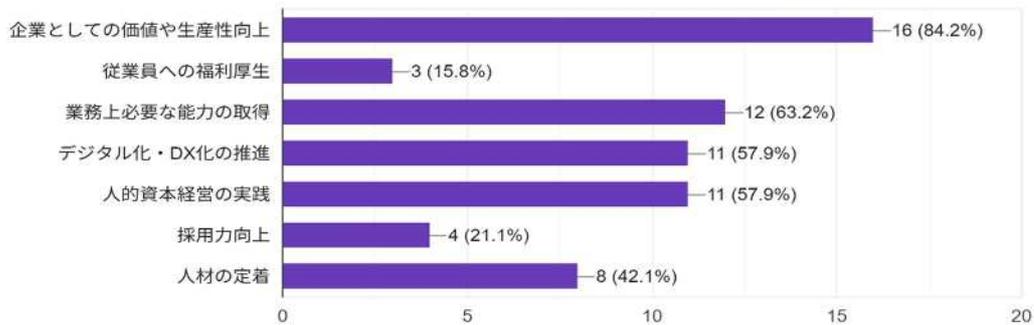
Q2 自社でのリスクリング取り組みについて  
(単位：%) n=84



### <Q2で「はい」と回答した先 17 社に対する質問>

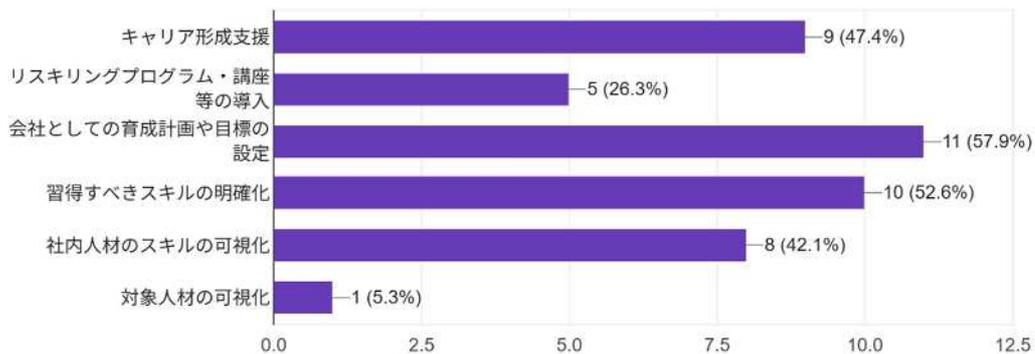
Q3-1：貴社が従業員のリスクリングに取り組む主な目的は何ですか？（複数選択可）

19 件の回答

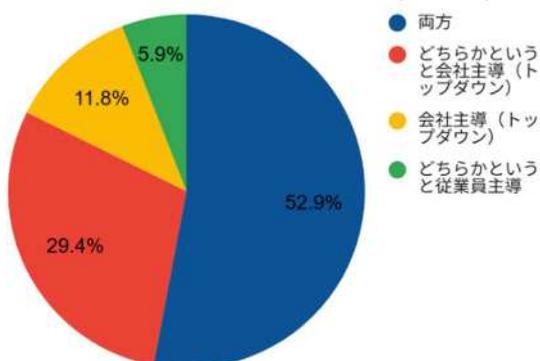


Q3-2：貴社がリスクリングのために取り組んでいることは、どれですか？（複数選択可）

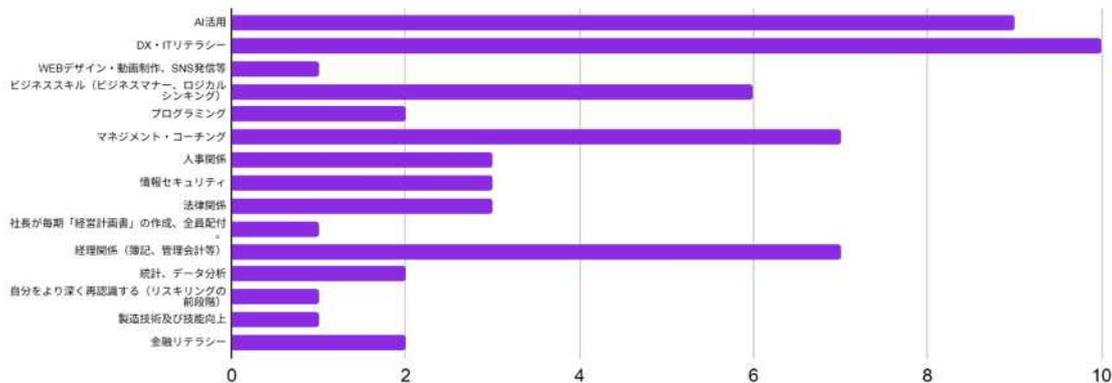
19 件の回答



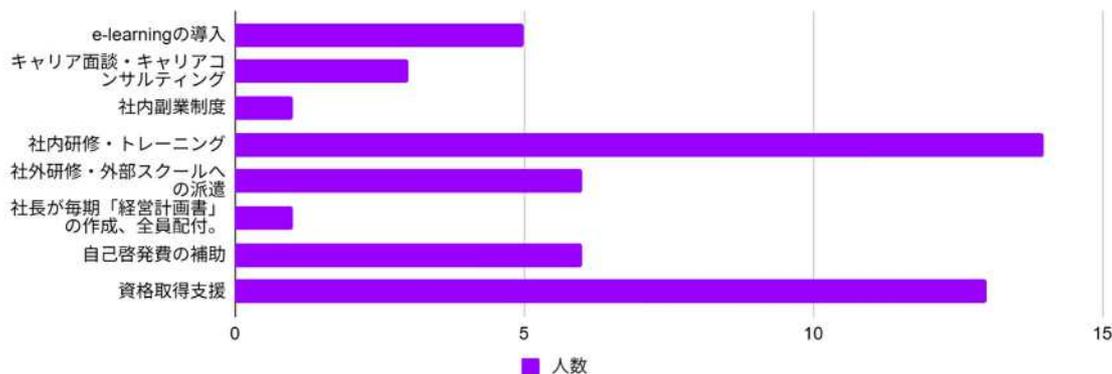
Q3-3 取り組みは会社主導か従業員手動か (単位：%) n=17



Q3-4 リスキリングの分野 ※複数回答可



Q3-5 実施しているリスキリングの施策について ※複数回答可



●Q3-6 実施しているリスキリング施策・プログラムの具体的な内容について

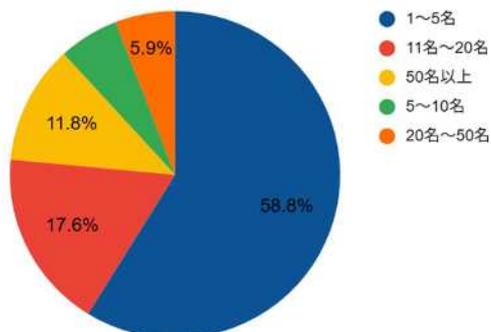
①サービス名:

- ・リスキリングキャンパス
- ・セルフキャリアドック
- ・中小企業大学
- ・外部の動画サービス 他

②受講テーマ（記述式）

- ・DX・生成 AI 活用
- ・ヒューマンスキル・テクニカルスキル全般（リーダーシップ、マーケティング、コミュニケーション など）
- ・ビジネスマナー
- ・自己分析及び社会情勢
- ・Excel 操作、RPA 開発などのスキル習得
- ・経理関係

Q3-6-⑤実施人数(単位：%) n=17

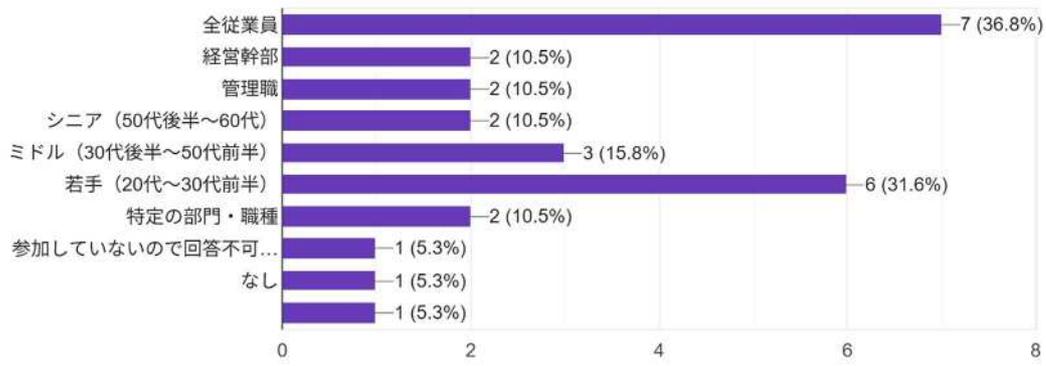


Q3-6-⑥頻度(単位：%) n=17

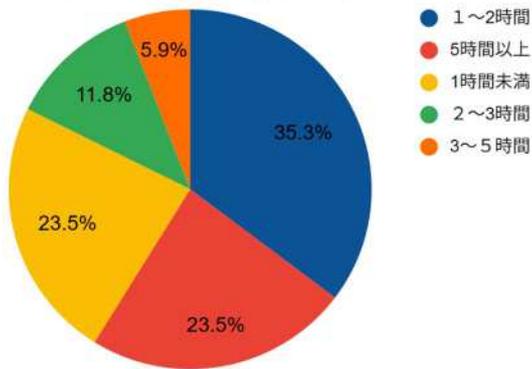


Q3-6-④：対象者（当てはまるものを全てお選びください）

19件の回答

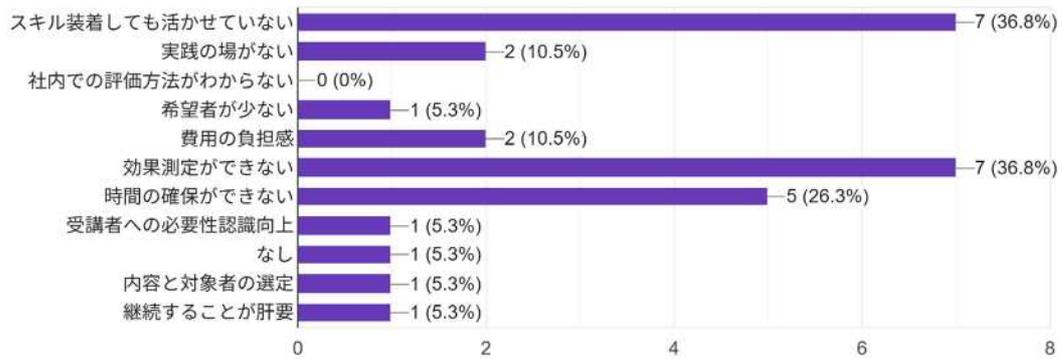


Q3-6-⑦1回あたりの時間数（単位：%）n=17



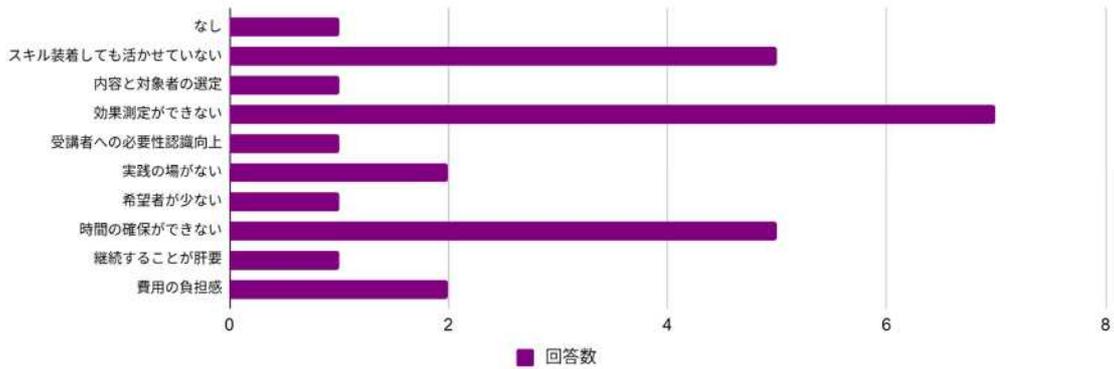
Q3-6-⑧：リスキリングを実施する中での「課題」を教えてください。（複数選択可）

19件の回答



● <Q2で「検討中」もしくは「いいえ」と回答した先 67 社に対する質問>

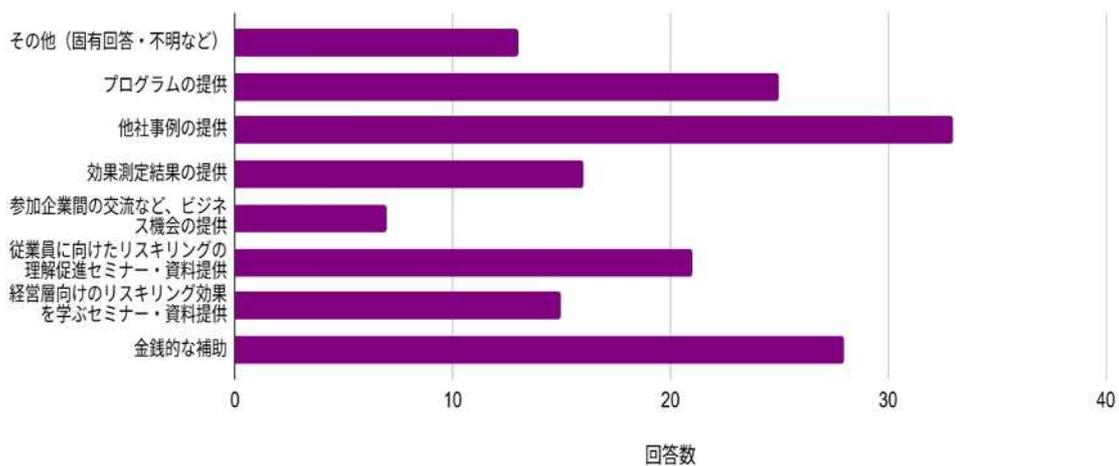
Q4-1 リスキリングに取り組まない理由 ※複数回答可



● Q4-2 リスキリングに取り組まない理由の詳細について(主なもの)

- ①時間・人員の不足
- ②進め方・ノウハウの欠如リスキリングの必要性への認識不足
- ③コストと採算性の問題
- ④リスキリングに関する情報不足・認知不足
- ⑤社内業務知識の優先
- ⑥組織体制・意思決定の課題
- ⑦社員のモチベーション・エンゲージメント不足

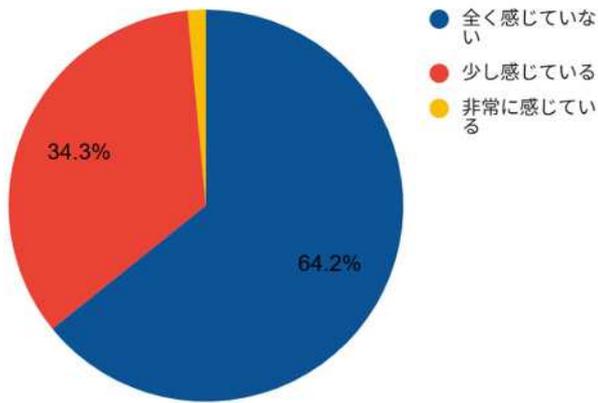
Q4-3 希望するサポートについて ※複数回答可



● Q4-4 今後の人材育成方針についてどのように考えているか(主なもの)

- ①社員が自ら学ぼうとする主体性と専門性の強化
- ②若手育成と組織基盤の強化
- ③多様な育成手法と環境整備
- ④リスキリングに関する経営層のマインドセット
- ⑤業務との連携と実用性の重視

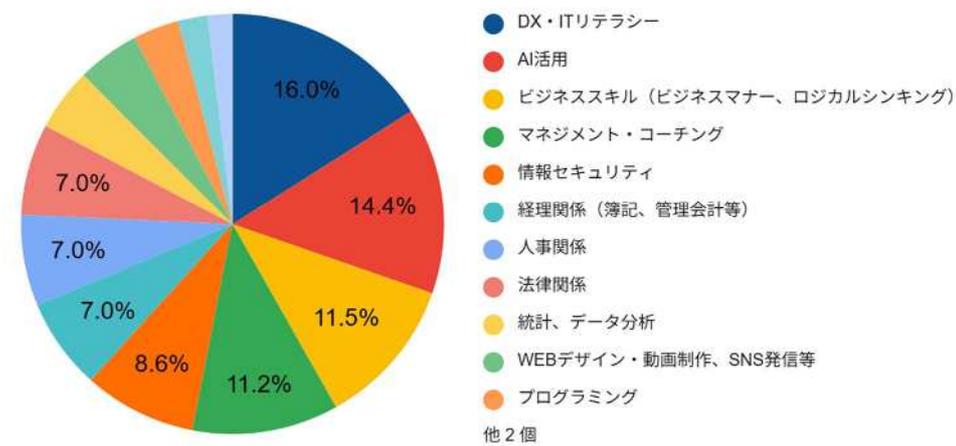
Q4-5 リスキリングの浸透具合(単位：%) n=67



## ●リスキリングに関する調査(2)

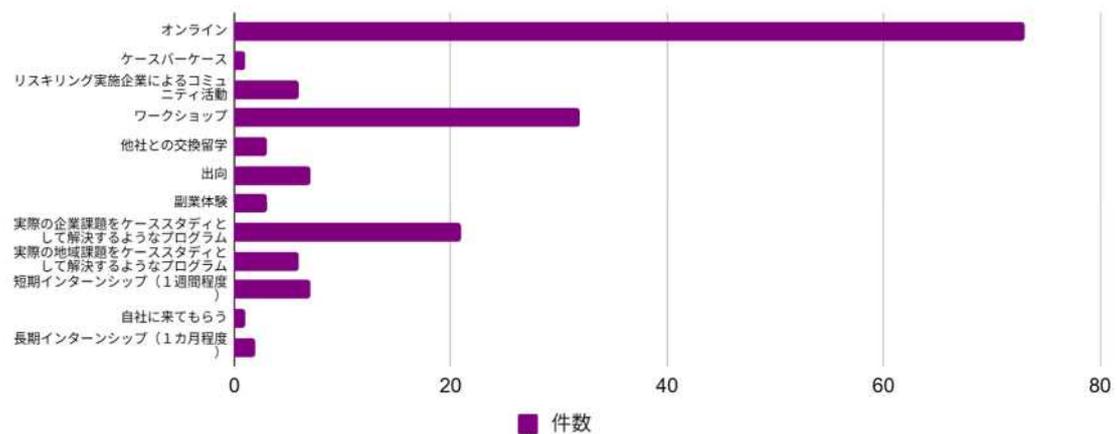
### ●Q5-1 従業員向けリスキリングで希望するプログラム内容について

Q5-1 希望のプログラム(単位：%) n=84



### ●Q5-2 希望する受講方法について

Q5-2 希望する受講方法 ※複数回答可



## Q6:北九州市のリスクリングに関する取組みで期待すること(主なもの)

①市内企業全体に対するリスクリングの認知度向上

→リスクリングによるメリットや成功事例の展開等の情報発信や講演会の開催により、経営層へのリスクリング理解を深める

②多様な学習機会

→オンラインやオンデマンド形式の学習環境の提供や柔軟な受講形態の導入

③北九州地域の産業特性等に合わせた具体的な講座やプログラムの提供

④企業間交流・ネットワーク形成の機会

⑤リスクリング促進のための経済的支援・補助制度

⑥継続的な学習機会の提供とアフターフォロー

→一度きりの取組ではなく、自主的かつ継続的にリスクリングできる環境の提供及び自社に還元できるようなアフターフォローの実施